

# 教育委員会だより

第42号 (令和7年5月～8月)

発行者

池田町・養基組合教育委員会

池田町六之井1468-1

tel. 0585-45-3111 fax. 0585-45-8314

e-mail yakuba@town.gifu-ikeda.lg.jp

## 新しい池田町 教育大綱より

教育長 高橋利行

今年4月に「池田町教育大綱」が改訂されました。教育大綱は3年ごとに見直され池田町の教育全体の方向性を示すものです。全文は「広報いけだ6月号」に掲載してあります。

最初に「すべては子どもたちの未来のために」とあります。学校ではとかく目の先の対応に追われますが教育大綱では、もつと長い視点で教育を考えることを提案しています。未来を見据えた教育が望まれています。

国にも教育大綱があります。その中に「人生100年時代は、同一年齢での単線的な学びや進路選択を前提とした人生のモデルから、一人一人の学び時期や進路が複雑化する人生のマルチステージモデルへと転換することが予測されている。こうした社会の構造的な変化に対応するため、学校教育における学びの多様化とともに、社会人の学び直しをはじめとする生涯学習の必要性が高まっている。」とあります。今までは3月に大学を卒業し4月に社会人となり定年まで働く、という一つの流れが当然であるとされてきました。近年、中途採用をする企業が増えてきた、あるいは若者が転職する、とよく聞きます。これからは、これが標準的なことになるのでしょうか。人生の大きな選択を大学卒業時にするだけでなく、その後もいろいろな場面で自分の進路を考える時代になっ

てくるのでしょうか。その時必要になってくるのは大綱にある「人生を主体的に自らの足で歩んでいける」ことです。

子どもたちの未来に向けた教育について町民の皆様からご意見をいただきながら考えていきたいと思います。よろしく願います。

## 南部校長会との 合同会議を開催しました

4月28日に今年度第1回目の南部校長会との合同会議を開催しました。

今年度は温知小に新しい校長先生が赴任されました。

教育長あいさつの後、各小中学校の校長から学校経営についての説明があり、教育目標の達成に向けた経営の方針と重点について質疑応答、意見交流を行いました。



各学校とも児童・生徒の実態や学校規模、地域特性に即した教育目標を掲げ、子どもたちが人生を主体的に自らの足で歩んでいけるようになることを目指した経営を進めていきます。

学びたいという意欲を引き出し、課題を発見し解決につなげられる確かな学力を育むこと、また、他者との望ましい関係性を築き共によりよく生き

ようとする人間性を形成することが主な重点として挙げられます。

学校や子どもたちを取り巻く社会と環境は目まぐるしく変化していきませんが、教育委員会、学校、家庭、地域が協働していくことを目指していきます。

## 各学校で学校運営協議会を 開催しました

池田町・養基組合の各学校で今年度も学校運営協議会を開催しました。保護者及び地域住民の学校運営への参画の促進や連携強化を進めることにより、学校と保護者、地域住民等と信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組むものとして設置されています。

八幡小では、今年度より区長会長を務められる竹中様が学校運営協議会会長に就任され、それぞれの委員に委嘱状が交付されました。高橋教育長からも池田町教育大綱についてのお話がありました。

その後、校長先生から今年度の学校経営方針の説明があり、昨年度からの改善点や今年度の重点についてプレゼン画面を見ながらお話がありました。特に、八幡小では、学校の教育目標「夢をもち、笑顔で学ぶ子」の実現に向けて、今年度はスポーツ界で活躍されている先輩やいろいろな職場で働く方々のお話を伺う機会を企画し、子どもたちが将来に夢や希望を持てるような取組が紹介されました。

その後、校内を回り、各学級の授業の様子を参観しました。

最後に参加者それぞれの立場から感想や意見が述べられました。

・子どもたちが明るく元気に学んでいる。

・どの学級も複数の先生方、支援員の方々と授業が行われ、きめ細かな指導がされている。

・少子化が進み、考え方等多様化してきており指導の難しさもある。先生方が心身ともに健康で子どもたちの前に立てるよう努めてほしい。

・長年取り組まれている八幡ふれあい教育により、子どもたちは安心して地域で活動できる。役員である保護者の負担が増えないように、活動の計画や報告会の持ち方を検討し、持続可能な形にしていけるとよい。

今後も授業や行事、集会などの様子の参観が計画されています。学校と地域をつなぐ役割を担っていただける



## 各学校の学校運営協議会会長名

- 【温知小学校】 5月13日開催  
会長 早崎 茂美 (西公民館長) 様
- 【池田小学校】 5月16日開催  
会長 寺戸 敏彦 (区長会長) 様
- 【宮地小学校】 5月12日開催  
会長 遠藤 弘志 (宮地公民館長) 様
- 【八幡小学校】 5月22日開催  
会長 竹中 孝一 (区長会長) 様
- 【養基小学校】 5月23日開催  
会長 野原 浩司 (養基公民館長) 様
- 【池田中学校】 5月22日開催  
会長 河瀬 治男 (区長連合会会長) 様

ようよろしくお願いいたします。

## 揖斐郡教育委員会連絡協議会 総会・研修会が開催されました

5月19日に揖斐郡教育委員会連絡協議会の役員会・総会が池田町役場協議会室で開催されました。

総会では、令和6年度事業・決算報告、監査報告が行われ、令和7年度事業計画案、予算案について協議しました。

令和6年度秋に行われた揖斐郡教育委員会連絡協議会研修会では、サンビレッジ国際医療福祉専門学校、極小美術館、アピ(株)池田工場を訪問させていただき情報交換や施策の共有を行いました。

年間を通じて、教育現場の課題解決や学校運営の充実に向け、関係機関との連携を深めることができました。こうしたつながりや学びの機会を通して、地域の子どもたちが安心して学べる環境づくりを、今年度も進めていきます。

## 池田町青少年健全育成町民大会 2025が開催されました



6月8日、130名ほどの地域の方々が参加され、青少年健全育成町民大会が開催されました。

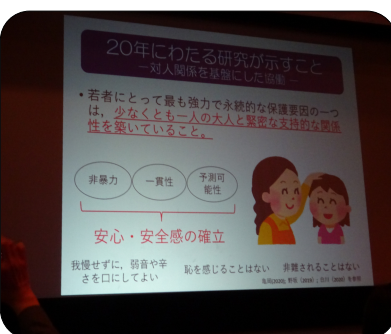
第1部では、教育委員会功勞者表彰、町PTA連合会表彰に続き、八幡ふれあい教育について実践発表があり、水郷祭り、

しめ縄と門松づくり等、多世代交流についての取組が紹介されました。八幡地区の町民運動会では小中学生も積極的に活動し、計650名が参加されたそうです。



第2部では、少年の主張の池田町代表として、池田中3年の3名が発表してくれました。河合音杏さんは「もつと世界に池田町を」、砂川るみさんは「未来ある変化に」、原千晴さんは「伝統芸能を未来につなげる」というテーマでした。美しい池田町の自然に注目した河合さん、部活動の地域移行の体験をもとにした砂川さん、市山からくり花火に取り組んでいる原さんの主張内容の新鮮さ、堂々と語る姿勢に感動しました。

第3部では、岐阜大学の板倉憲政准教授から「現代の子どもの特徴と関わり方」について講演がありました。不登校児童生徒の増加とその要因、小児期の逆境体験、自死や自傷行為などについて板倉先生の研究の一端を教えてくださいました。講演の最後のことば「若者にとって最も強力な保護要因の一つは、少なくとも一





人の大人と緊密な支持的な関係性を築いていること」が特に印象に残りました。参加いただきました地域の皆様に感謝申し上げます。

## 西濃地区教育委員会連絡協議会 総会・研修会が開催されました

6月18日、令和7年度の西濃地区教委連絡協議会の総会及び研修会が、大野町総合市民センターで開催されました。

総会では、前年度の事業報告・決算報告、令和7年度の事業案・予算案について審議し、承認されました。

総会の後、教育委員研修会と講演会が行われ、研修会では、垂井町と海津町の教育委員会の取組の発表がありました。



垂井町は、「垂井道徳教育推進協議会とその活動状況について」という内容で発表されました。推進協議会の組織作りや活動の状況など、どのように道徳教育の推進がなされてきたか具体的な取組が紹介されました。特に、「あったかい言葉がけ運動」は、「広報たるい」に、応募されたあったかい言葉を掲載し、広く町民に紹介すること、子どもだけでなく大人も幸せ感を味わうことができるようになったと成果を発表されました。

海津市は、「海津市の部活動の地域移行の取組について」という内容で発表されました。



先進地の事例を学んだり、意見交換を何度も行われたりしたことや、休日部活動の地域移行に向けては、運営体制や役割を明確にし、「海津市中学校地域クラブ」として開設したことを発表されました。今後も中学生の文化・スポーツ環境を充実させるためには、行政・

中学校・スポーツ団体等、それぞれが連携し、一本のパイプとなつて地域展開を推進していきたいと結ばれました。

最後は、中井正幸氏（岐阜聖徳学園大学 特別研究員）を迎え、

『遺跡はなぜ大切なのか』

という演題で講演がありました。

大野町や垂井町などにある古墳の調査事例から、古墳や出土物は「文化史料」、現在および将来の社会で活用できるように資料を資源化し活用可能な状態になったものを「文化資源」ということを興味深い話から学びました。遺跡は、「過去」を知る文化財であり、現代社会ともつながる文化遺産としても文化資源になりうるため、私たちは、身近な遺跡を地域や学校で大いに活用していきたいと話されました。

総会並びに研修会に参加し、他の地域の取組を学んだり、自分の地域の文化資源を見直したりし、大変有意義な会になりました。

## 西濃教育事務所職員課訪問に 同行しました

西濃教育事務所による学校訪問が、6月3日温知小・養基小、6日池田小・池田中、11日八幡小・宮地小で行われ、授業参観と共に学校施設管理・各種帳簿類の監査等が行われました。

訪問に同行し、子どもたちの様子を参観いたしました。



### 温知小では

子どもたちの学習姿勢に落ち着きを感じました。また、先生の表情にも笑顔が多く見られ、若い先生の成長も感じました。

若手の先生がベテランの先生から多くを学んでいることが、授業からも伝わってきました。



### 池田小では

子どもたちの先生を見る目が温かく、先生との人間関係ができていと感じました。

授業の導入部分で、子どもたちの興味関心を引き出す工夫を感じました。





交流では、タブレットを効果的に使う場面が多く見られました。

### 宮地小では

元氣よく授業に集中できていました。学校規模は小さいですが、学年の枠を超えて子どもたちを全職員で見守り育てていくという熱い思いを感じました。



机間指導や子どもたちへの言葉かけに温かさを感じ、先生と子どもたちとの信頼関係が伝わってきました。



### 八幡小では



多くの学級で、ICTを有効活用した学習活動が行われていました。ロイロノートを使った国語の学習では、以前は時間をかなりかけて交流していた内容が素早く交流できてしまうことに驚きました。子どもも先生も見事に使いこなしていました。

### 養基小では

全体的に落ち着きがあり、先生の話や友達の発表を一生懸命聞き取ろうとする姿がどの学級にもありました。先生が児童を価値づける姿も多くありました。



### 池田中では

どの授業でも、生徒が見通しをもつて取り組む姿や、仲間と積極的に交流する場面がありました。また、生徒を引き付ける先生の高い専門性を感じました。次の授業の場所に急いで移動する状況でも、すれ違う場面で生徒たちは気持ちの良い挨拶をしてくれました。



### 編集後記

今年は梅雨の間も雨が少なく、6月下旬から記録的な猛暑が続きましたが、7月には線状降水帯が通過し、大雨注意報が出る等大雨、洪水も心配されました。そんな中、各学校では、夏休み前の学習や学校行事をほぼ計画通りに行うことができました。

教育委員会では、今年もSummer English Lesson、寺子屋学習等を実施し、夏休み中の学習の場の提供をしました。英語教室は58名、寺子屋は40名と多くの児童生徒が応募し、意欲的に英語に親しんだり、夏休みの課題に取り組んだりすることができました。

今後も、教育委員会だよりでは、活動状況を発信していきますので本たよりについて、お気付きの点があれば、お知らせください。

編集担当：林啓子・勝野茂優

### 教育委員会の主な活動報告

令和7年5月～8月

| 日付    | 活動                   | 場所          |
|-------|----------------------|-------------|
| 4月28日 | 池田町・養基組合合同教育委員会      | 庁舎会議室       |
|       | 南部校長会との合同会議          | 〃           |
| 5月19日 | 池田町・養基組合合同教育委員会      | 〃           |
|       | 揖斐郡教育委員会連絡協議会総会      | 〃           |
| 6月3日  | 西濃教育事務所学校職員課訪問同行     | 温知小・養基小     |
| 6日    | 〃                    | 池田小・池田中     |
| 11日   | 〃                    | 八幡小・宮地小     |
| 18日   | 西濃地区教育委員会連絡協議会総会・研修会 | 大野町総合市民センター |
| 23日   | 池田町・養基組合合同教育委員会      | 庁舎会議室       |
| 7月15日 | 〃                    | 〃           |
| 8月20日 | 〃                    | 〃           |
|       | 教育委員会だより編集委員会        | 〃           |
| 22日   | 初任者研修会               | 〃           |